

遠藤 幸子 さん

なかごめますみの
笑顔のリレー



なかごめ ますみ
ぶらむニュース編集長
著書に『フウエンティ・イヤーズ』
(発売・丸善がある。
株・青梅不動産会長)

肩書を聞いたら「主婦です」とさざりて答えるが、この主婦、只者ではない。和裁、料理、編み物に刺繍、そして折り紙に至るまで、すべてが一流のカリスマ主婦なのだ。それなのに携帯電話のコール音は「さっちゃんばね、幸子っていうんだ、ホントはね」ときた。茶目っ気までもが一流で、楽しさのあまり対談後はファミリーレスへ。舌好調、言うまでもない。

昼は和裁、夜は編み物教室

ますみ 青梅市手話サークルで活動されているそうですが、どんなきっかけで手話をはじめたのですか？

幸子 私は昭和53年頃、板橋区主催の障害者向けの手芸教室で編み物を教えていたのですが、受講者の一人がそばに来て、突然、私のアゴを上にあげました。驚いて、あまり気持ちの良いものではありませんでした。後で知ったことには、耳が聞こえない人だったのです。



東北なまりの対談
(福島県、宮城県出身)

たぶん、唇の動きを見たかったのだでしょうね。そのことがきっかけで手話を習いたいと思いましたが子育て中で、都心まで通うのが難しくていたところ、昭和55年に青梅市の手話講習会があり、受講しました。**ますみ** 編み物は小さい頃から好きだったのですか？

幸子 中華鍋が欲しかったの。悪いことをしたら、お仕置きは粗ミシロに正座なのだけれど、その時は『出て行け』って。私、嘘つきの詐欺師だったのかしら(笑)

ますみ よほど、中華鍋を使った料理を試みたかったのですね。さあて、紙面の関係で、そろそろ結婚のことを聞かないと(笑)

幸子 中学の先生が仲人で見合いをして、私は『東京で暮らす気はありません』とお断りしたつもりでいたら、先生はそのことを相手に伝えないでいて話がすみ、『断ったはずですが』『そうだったけ』なんて、先生ったらペテン師なの。

ますみ 詐欺師、ペテン師にひっかかって結婚ですか(笑)それで、青梅に？

幸子 縁とは不思議ですね。主人は郡山出身ですが、都心の職場に就職をしていました。30歳前に自分の家を持つと考えていたらしく、座って読書しながら都心に通勤できるのが魅力だと、青梅に家を建築中でした。

ますみ ご夫婦とも青梅は知らない町だったのですね。で、どんな暮らしを？

幸子 偶然、和裁をしている方と知り合い、その方達と一緒に呉服屋さんから依頼された着物を仕立てていました。当時はまだ、青梅には芸者さんがいて、呉服屋さんもたくさんあって、子供が生まれてからも縫っていました。そのうち四谷にある手芸教室に通うようになり、文化刺繍、木目込み人形、アメリカフラワーなどを習いました。それが縁で、前にお話しましたように、板橋区や新宿区主催の障害者向けの教室で私が編み物などを教えるようになったのです。

ご主人の協力を得て手話を習得

ますみ 都心の手芸教室に通う頃、お子さんはまだ、お小さかったですよ。

幸子 いいえ、本当のところ将来は栄養士になりたかったのです。けれど、高校卒業後、父親に和裁の先生のところに住み込みで行かされてしまいました。

ますみ お父さんは手に職をつけさせたかったのでしょうか。

幸子 そうです。そのためには一流でないといけないって、三越(越後屋)の仕立てをしていて、戦時中に郡山市に疎開した75歳の男性の先生のところに住み込んで教えてもらいました。先生は私に、手が違くと木綿などには触らせず、絹しか縫わせませんでした。雨が降りそうになるときと『幸ちゃん、映画に行くぞ』って。気も疲れるし、おじいちゃんと孫みたいでしょ、嫌でしたね(笑)

ますみ どうして、雨だと映画ですか。

幸子 湿度が高いと、生地が縮むでしょ。

ますみ ふうん、そうなのですか。

幸子 おじいちゃん先生のところは家事も当番制でしたし、体調を崩してしまい、そこは2年間だけで終わりました。次も父親に言われるまま、下宿屋をしながら和裁を教えている女性の先生に習うことになりました。そこでは自分の部屋から廊下を歩いて先生の部屋に行きます。

ますみ 今度はまた楽ですね(笑)

幸子 当時、高卒の初任給は8、9千円

幸子 そうですね。手話を習う頃には二人の娘は小学3年生と1年生でした。

ますみ 誰が子供さんの面倒を？

幸子 主人が。土曜が半ドンでしょ。だから私、土曜の午後と日曜日しか活動できませんでした。

ますみ 週に1度の休日でしょ、どうやって理解していただいたのですか？

幸子 どうだったかしら、全然記憶にありません。ほら、私は詐欺師だから(笑)

折り紙は老後の備え

ますみ 手話修得の後はどうなるの？

幸子 青梅市からの要請で、少しばかり聾の方々のお世話をしました。



折り紙作品「花」

お世話した中には、施設で聴覚障害者に対する理解が無かったために、常にイライラし不満がたまっていた聾の老人がおりました。施設の方々との仲介をしたり職場に理解を求めていく中で、



折り紙作品「竜」

コミュニケーションのための絵を上手に描くようになりまして。また、聾の20歳の女性を預かったことがあります。買い物から料理、日常のさまざまなお世話をしました。

教え、その後、彼女の結婚式に招待されました。やがて子供が生まれ、その子が大人になって嬉しく思いました。

ますみ それはみな、ボランティアなのですか？

幸子 そうです。

遠藤 幸子さんプロフィール



福島県郡山市出身 昭和19年生まれ

昭和37年 安積高等学校(現湖南高等学校)卒業
卒業後家事手伝い
昭和42年 結婚と同時に青梅市に住む
昭和55年 手話講習会受講
終了後、手話活動を始め現在に至る
昭和60年 青梅慶友病院に勤務(パート)
平成17年 現在、「折り鶴の会」を主宰
青梅市在住

くらいでしたが、家からは月に1万8千円貰っていました。

ますみ そりゃまたリッチですね(笑)

幸子 浮いたお金で料理教室や編み物教室に通いました。

詐欺師、ペテン師に騙され青梅に

ますみ 本当は栄養士志望でしたものね。料理はなぜ好きですか？

幸子 だって、死ぬまで食べなきゃいけないでしょ(笑)私ね、中学生の時、父親から辞書を買うお金をもらったのに、祖父からも貰って、祖父のお金で鍋を買って、叱られてしまいました(笑)

ますみ 家の鍋ではダメだったの？

ますみ 誰かの善意にだけ頼っているのかと、少し考えてしまいますね。

幸子 ある時、手話通訳を頼まれ、



折り紙作品「節句飾り」

を受けたことがあります。それで薬に関心を持つようになり、何とか薬品関係の仕事がしたいと探していたら青梅慶友病院の薬剤師補助と言う仕事が見つかりました。

ますみ 好奇心が湧くともう、ひたむきに積極的ですね。

幸子 そうなりますかしらね(笑)病院で高齢者を見ていて、今度は自分が年を取ったときのことが気になりました。目が悪くなり、針や編み棒を持つのが危険になったら私は何をしたらいいだろうって。

ますみ 今度は何に好奇心が？(笑)

幸子 そういった意味で「折り紙」だと。

ますみ そしてまた、習いに？

幸子 はい、御茶ノ水まで(笑)今のうちに始めないと、年をとってからでは間に合わないですから。

ますみ 現在は『折り鶴の会』で折り紙を教えているそうですね。

幸子 娘の関係でイギリスに行って教えて喜ばれ、そのことを聞いた人たちが自分たちにも教えてということになって。

ますみ すること盛りだくさんですが、その中でも大切なのは何ですか？

幸子 家事全般を教えた女性に『私は聾だから手話と一生付き合うのだけど、おばちゃんはいつ、やめてもいいのよね』といわれ、胸にズキンとききました。『一生、私も手話にかかわっていく』と言ったのだけど、私だっけとつづらうは約束を守らないとね、あはは。



テレビ・インターネットも電話も
ケーブル1本でつながる安心

INTER NET TV TELEPHONE

TCN 多摩ケーブルネットワーク(株)
青梅市新町7-4-3 HP www.t-net.ne.jp
年中無休 TEL 0428-32-1351

豊富な品揃えで良い品をより安く!

信頼と技術、安心のお店
真幸メガネ

小作駅東口 真幸メガネ 真幸メガネ 小作駅

メガネ・補聴器

指定店 真鍋クリニック 真愛眼科 おしきり眼科

どうぞ、お気軽にお立ち寄り下さい。心よりお待ちしております。
羽村市小作台2-6-7 ☎ 042-579-1831 木曜定休

年金はJAで!
年金お友達紹介
キャンペーン実施中!

あなたの期待に笑顔でお応え

JA西東京

本店 ちよきんぎょ

〒198-0032 東京都青梅市野上町 2-21-5
TEL0428-22-2176 FAX0428-23-1493

http://www.ja-nishitokyo.or.jp

人がすべての 街づくり 夢づくり

seibu 西武信用金庫

青梅市 店舗一覧

河辺支店	師岡4-12-2	0428-24-1171
千ヶ瀬支店	千ヶ瀬町4-327-2	0428-24-1411
三ツ原支店	藤橋3-3-1	0428-31-1581